

商品名 トレプロスト注射液100mg 医薬品基本情報

薬効	2190 その他の循環器官用薬	一般名	トレプロスチニル注射液
英名	Treprost	剤型	注射液
薬価	376170.00	規格	100mg 20mL 1瓶
メーカー	持田製薬	毒劇区分	(劇)

トレプロスト注射液100mgの効能・効果

肺動脈性肺高血圧症

トレプロスト注射液100mgの使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、右心不全の急性増悪時、重篤な左心機能障害、重篤な低血圧	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 肺静脈閉塞性疾患	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
3. 肝障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
4. 特発性PAH・遺伝性PAH及び結合組織病に伴うPAH以外のPAH	記載場所	効能・効果
	注意レベル	注意
5. 高度に肺血管抵抗が上昇、出血傾向、低血圧、肝機能障害、重度肝障害＜Child-Pugh分類C＞	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

トレプロスト注射液100mgの副作用等

1. 異常	記載場所	用法・用量
	頻度	頻度不明
2. 血小板減少、重篤な血流感染、局所反応、疼痛、紅斑、腫脹、熱感、持続皮下投与の継続が困難な疼痛	記載場所	重大な副作用

3. 過度の血圧低下、失神、出血、消化管出血、鼻出血、皮下注射部位出血、カテーテル留置部位出血、甲状腺機能亢進症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
4. 好中球減少	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
5. 不正子宮出血、結膜出血、鼻出血、紫斑、潮紅、ほてり、動悸、低血圧、下痢、悪心、嘔吐、上腹部痛、四肢痛、顎痛、筋骨格痛、筋肉痛、頭痛、不眠症、浮動性めまい、異常感、発疹、皮膚そう痒症、注射部位疼痛、注射部位紅斑、注射部位腫脹、注射部位熱感、注射部位硬結、注射部位そう痒感、注射部位出血、注射部位変色、注射部位血管炎、浮腫、倦怠感、血管障害、血管痛、発熱	記載場所	その他の副作用
6. 出血傾向、咯血、肺出血、軟便、腹痛、頭部不快感、蜂巣炎、注射部位膿瘍	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
7. 血小板減少、好中球減少	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
8. 甲状腺機能亢進症	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
9. 死亡、敗血症、重篤な感染症、中心静脈カテーテルを介した感染、骨格変異を有する胎仔、腰肋骨を有する胎仔、潮紅、頭痛、低血圧、悪心、嘔吐、下痢、数分間持続した意識消失を伴う発作のような行動	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

トレプロスト注射液100mgの相互作用

1. 薬剤名等：降圧作用を有する薬剤	発現事象	過度の血圧低下	投与条件	-
	理由・原因	相互に降圧作用を増強	指示	注意
2. 薬剤名等：抗凝固剤	発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
	理由・原因	相互に抗凝固作用を増強	指示	注意
3. 薬剤名等：血栓溶解剤	発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
	理由・原因	相互に抗凝固作用を増強	指示	注意
4. 薬剤名等：血小板凝集抑制作用を有する薬剤				

発現事象	出血の危険性を増大	投与条件	-
理由・原因	相互に抗凝固作用を増強	指示	注意

5. 薬剤名等：CYP2C8誘導剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが低下し本剤の効果が減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるCYP2C8を誘導することにより、本剤の代謝が促進	指示	注意

6. 薬剤名等：CYP2C8阻害剤

発現事象	本剤のAUC及びCmaxが上昇し本剤の副作用が発現	投与条件	-
理由・原因	本剤の代謝酵素であるCYP2C8を阻害することにより、本剤の代謝が抑制	指示	注意

トレプロスト注射液100mgの配合変化

1. 薬剤名等：他の薬剤

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	配合変化試験を実施していない	指示	禁止

